

iMovieの利用手順

～SISスタジオでの使用方法～

SISラボ管理室

目的

- 本書はSISスタジオ内のMac端末が有するiMovieに関して以下の操作手順を記載するものです。
 1. ライブラリ・プロジェクトの新規作成
 2. 作業終了時の操作
 3. 作業再開時の操作
 4. ムービーファイル出力の操作
 5. 作品を提出し、講義の最終回を迎えた際の操作
- 上記以外の操作手順は明記しませんのでご注意ください。

注意事項

- 本書で説明する操作はSISスタジオのMac端末において端末に依存せず、iMovieを使用するためのものです。SISスタジオ以外では本手順は無効ですので、ご注意ください。
- 本書で使用するDataフォルダは一時フォルダです。メンテナンス時にフォルダ内容を削除することがあります。最終的な保存は常にデスクトップに行ってください。

目次

1. 利用準備
 - ▶ ライブラリ・プロジェクトを個人環境に作成し利用準備を整えます。
2. 作業終了時の操作
 - ▶ 作成途中のファイルを個人環境からネットワーク上の各自の環境に保存します。
3. 作業再開時の操作
 - ▶ 前回終了時のファイルをネットワーク上の各自の環境から個人環境にコピーします。
4. ムービー出力の操作
 - ▶ ムービー出力時の設定と保存場所の指定を行います。
5. 不要なファイルの削除操作
 - ▶ 作品制作が完了し成果物を提出したら、素材に使用した不要ファイル等を削除します。

状況・作業に対する本書の対応について

- 行いたい作業や発生する状況に応じて、本書のどの章が該当するかを列挙しています。
 - ▶ 章タイトルにリンクがついています。
必要に応じてガイドとしてご利用ください。

Q iMovieを初めて使う

A [「1 利用準備」](#)の操作を実施します。

Q 作業を終えて帰宅したい

A [「2 作業終了」](#)の操作を実施します。

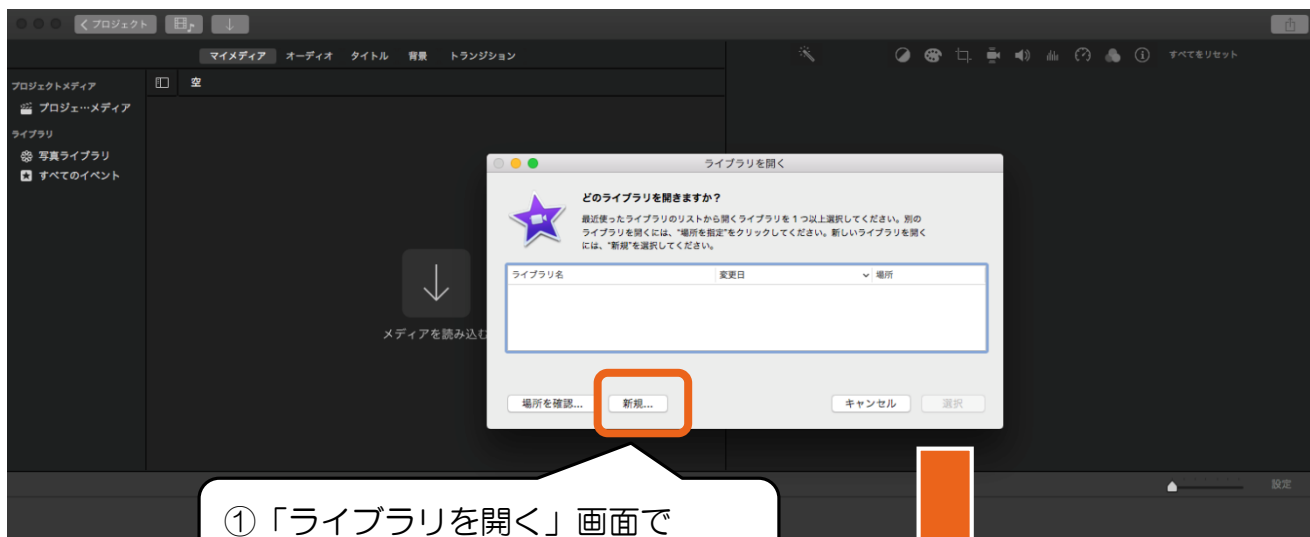
Q 途中の作業を再開したい

A [「3 作業再開」](#)の操作を実施します。

Q ムービーファイルを出力したい

A [「4 ムービー出力」](#)の操作を実施します。

1 利用準備 ～ライブラリの作成～



①「ライブラリを開く」画面で「新規...」ボタンをクリック



②Dataドライブ→UserDataフォルダ→自分の名大IDフォルダを選択
適当なフォルダを作成し名前欄にライブラリの名称を入力
(図内A～Eの順に操作します。)
※この手順書では例として「imovie」フォルダとしています

➤ 以上で新規ライブラリが作成できました。

1 利用準備 ～新規プロジェクトの作成～

① 「プロジェクト」をクリック

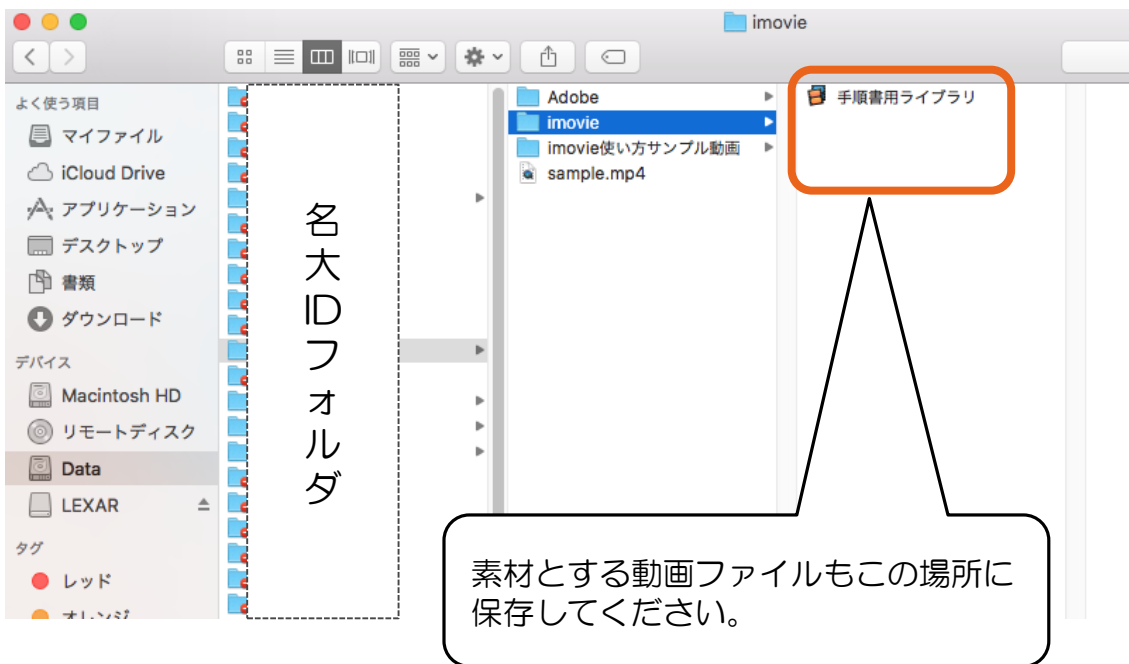
② 名称を入力し、OK

③ 設定した内容でプロジェクト完成

➤ 以上で新規プロジェクトが作成できました。

1 利用準備 ～作業の確認～

- 個人環境にライブラリとプロジェクトを新規作成しました。
- 以下のファイルが作成場所にあるか確認してください。
 - ✓ Dataドライブ→
UserDataフォルダ→
自分の名大IDフォルダ→
作成したフォルダ→
作成したライブラリファイル
- 編集の元とする動画ファイルも今回準備したフォルダと一緒に保存してください。

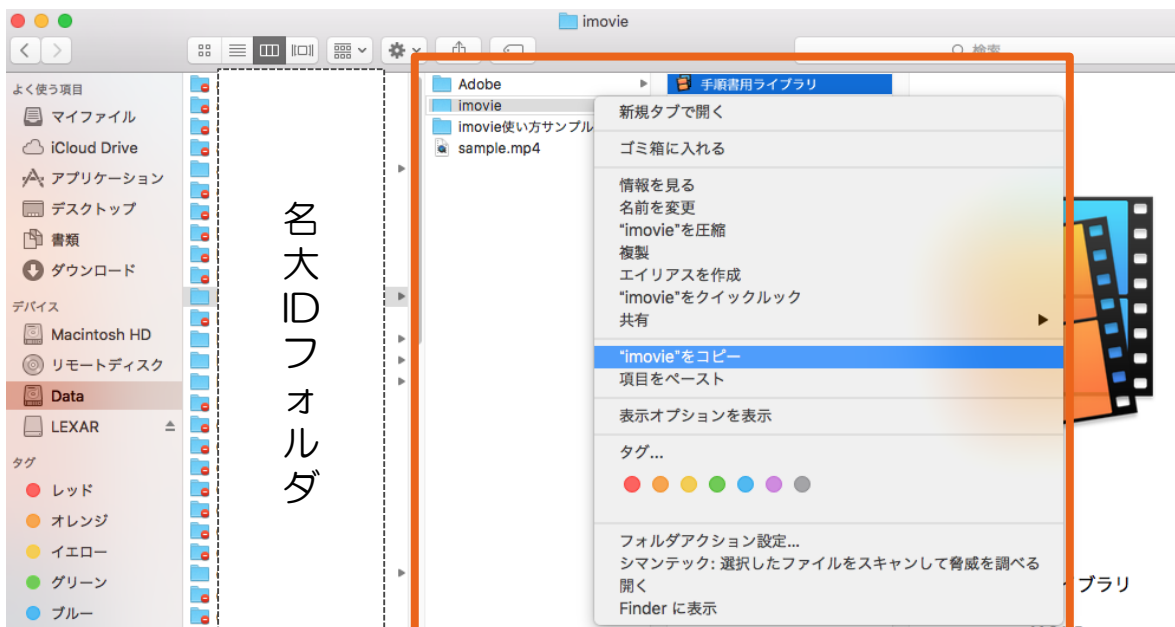


ここまでの設定で、iMovieの利用準備ができました。

実際の動画編集・作成は先生方の指導に従ってください。

2 作業終了 ～保存場所の準備とファイルコピー～

- 各端末での作業後、ネットワーク上にファイルを保存します。この操作で他の端末で作業を再開するための準備ができます。
1. iMovieを終了します。
 2. デスクトップに作業中のフォルダをコピーします。
※本書では「imovie」と作成したフォルダです。
 3. 以下のようにフォルダをコピーし、デスクトップにペーストします。



作成したフォルダを選択してコピー

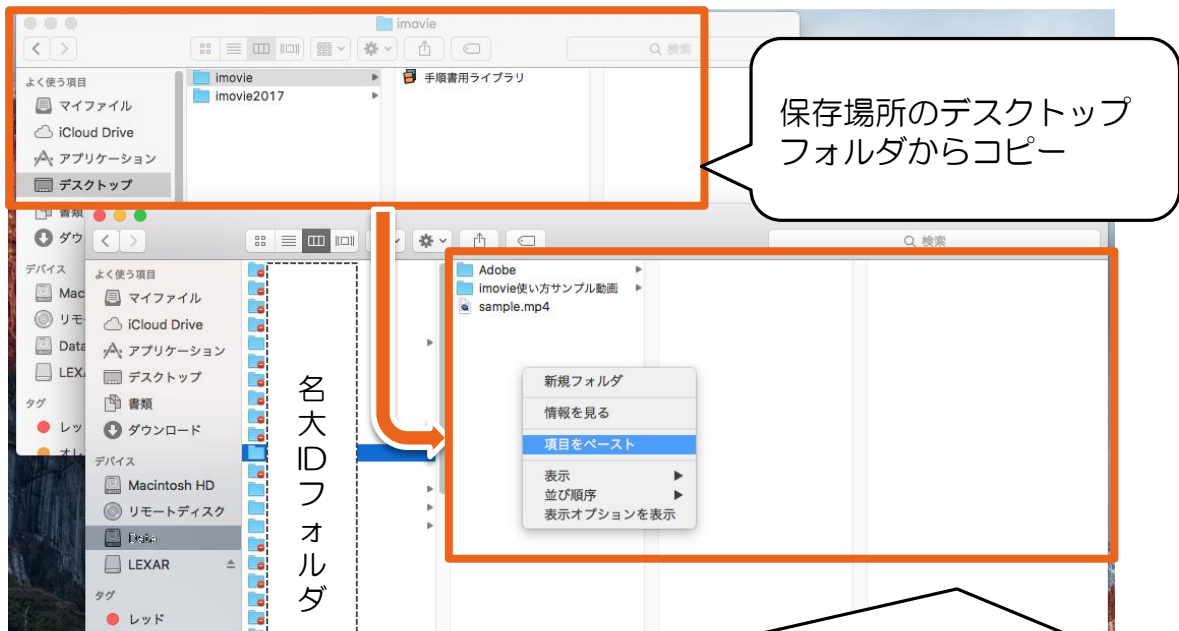
※作業中のフォルダは以下にあります。

Dataドライブ→UserDataフォルダ→自分の名大IDフォルダ

- 以上でネットワーク上で作業フォルダを共有できる状態になりました。

3 作業再開 ～個人環境へのファイルコピー～

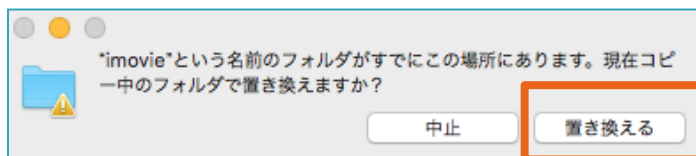
- この操作でネットワーク上に保存したファイルを各端末にコピーし、作業を再開するための準備ができます。
- 1. 前ページでデスクトップにコピーした作業中のフォルダ（本書では「imovie」フォルダ）を個人環境のフォルダにペーストします。



作業中のフォルダ（本書では「imovie」フォルダ）を個人環境フォルダにペースト

※個人環境フォルダの場所はそれぞれ以下です

Dataドライブ→UserDataフォルダ→自分の名大IDフォルダ

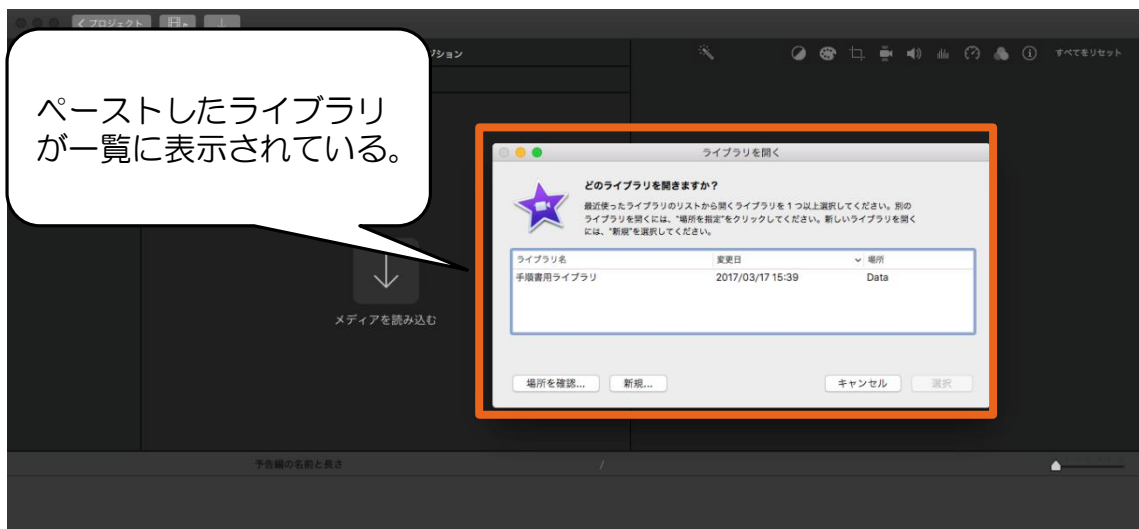


既にフォルダがある場合は内容を確認して「置き換える」をクリック。

- 以上でネットワークから個人環境へのファイルコピーが完了し、作業再開の準備ができました。

3 作業再開 ～再開準備の確認～

- iMovieを起動し、ファイルがコピーできたか確認します。
 1. コピーが完了したことを確認し、iMovieを起動します。
 2. 以下のような表示になればファイルコピーはできています。



3. ライブラリを選択した後、「選択」ボタンをクリックして開きます。

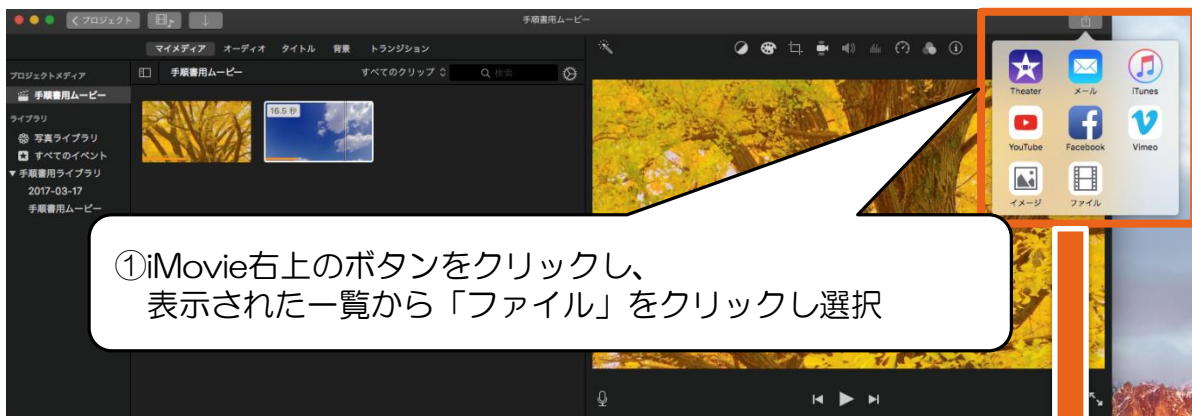
- 結果が正しくない場合は以下を確認してください。
 - ✓ 終了時にデスクトップにコピーしたファイルが最新どうか

お疲れさまでした。
作業再開時の操作説明は以上です。

以降、作業終了⇔作業再開の際には
本書2章と3章の操作を必ず実施して
コピー漏れ、ペースト漏れがないようご注意ください。

4 ムービー保存 ～出力設定～

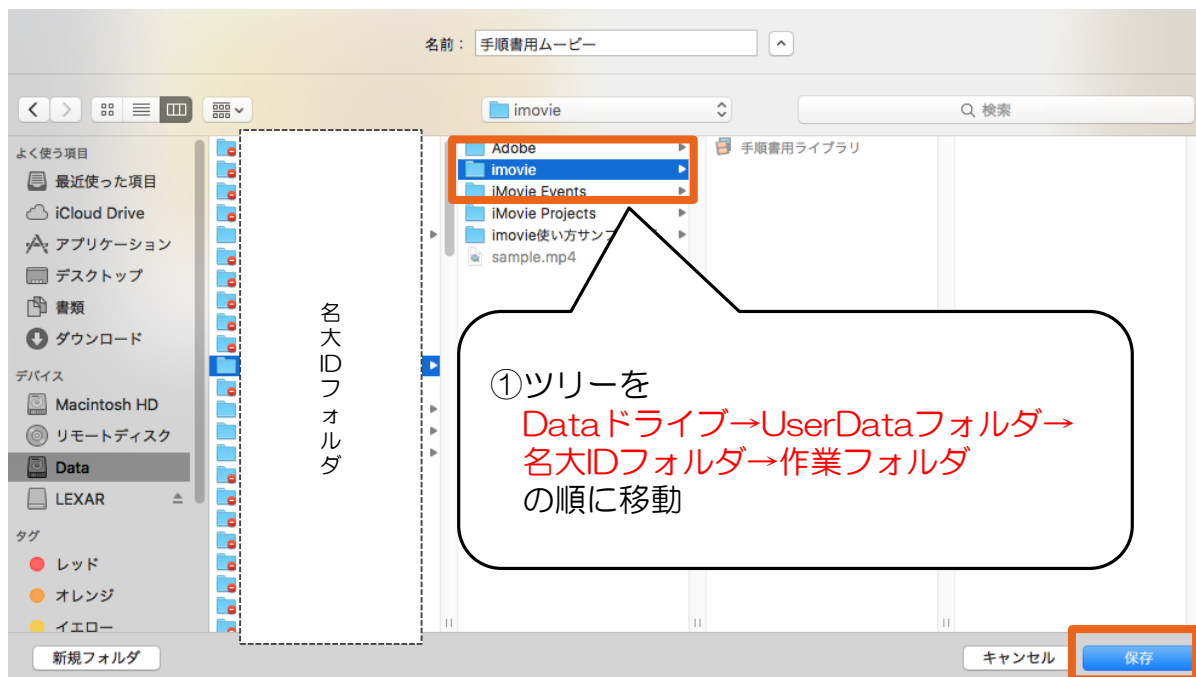
- 作成したムービーは以下のように操作して保存します。
- ムービーは必ず**ファイル**で保存してください。



- 引き続き、ファイルの保存場所を指定します。

4 ムービー出力 ～保存場所の指定～

- ムービーの出力場所に各端末の個人環境を指定します。
- 以下のように操作し、ムービーは必ず **Dataドライブの作業中フォルダ**に保存してください。
※場所の指定の仕方は次のページを確認してください。



①ツリーを
Dataドライブ→UserDataフォルダ→
名大IDフォルダ→作業フォルダ
の順に移動

②準備ができたなら「保存」
ボタンをクリック

お疲れさまでした。
ムービーの書き出しが完了しました。
正しく保存できているかファイルを再生して確認してください。

5 不要なファイルの削除

- ここでは作品制作過程で保存した途中のファイルや、素材のファイル等、不要になったファイルを削除します。
 - 作品制作が完了し、提出も終わった時点で作業を実施します。
1. 削除対象のファイルをゴミ箱に移動します。
（ゴミ箱は画面下のメニュー右側にあります。）
 2. ゴミ箱アイコンを右クリックして、「ゴミ箱を空にする」を選択します。
 3. ダイアログでOKを選択し、ゴミ箱のアイコンが空になったことを確認します。

作品制作お疲れさまでした。
以上で、不要なファイルは削除されました。